

中規模地方大学における全教員を 対象とした論文業績調査の実施例

群馬大学 研究・産学連携推進機構 URA室

リサーチ・アドミニストレーター 永井博昭

本日の発表内容

1. 調査実施の背景
2. 先行調査について
3. 本調査(全教員を対象とした論文業績調査)
について

調査実施の背景

■群馬大学 平成29年度 年度計画【40-1】

「研究資源を有効に活用し、新たな強み・特色を形成し、外部資金を安定的に確保するとともに、適切な研究環境構築のために研究IRを実施する。」

■学部・研究科内、学部・研究科間の共著状況を含め、論文業績を正確に把握することを目的として調査を実施

先行調査について

■ 医学部(医学系研究科、保健学研究科)や附属病院がある
昭和地区(全教員の約60%が所属)において、直近1年の
英文論文について調査

■ 調査項目

- ・論文題名
- ・責任著者
- ・巻、号、頁
- ・全著者名
- ・出版年月日
- ・DOI
- ・筆頭著者(共筆頭著者)
- ・雑誌名
- ・PubMed ID など

■ 依頼方法

医学系研究科は部門(講座)、他の学部・研究科等は
研究者個人に対してメールで依頼

先行調査の結果(1)

■ 医学系研究科・附属 病院内における重複 の状況

	論文数
各部門から報告された論文数の合計	388
部門間の共著を除いた重複のない論文数	312

■ 昭和地区全体の論文数

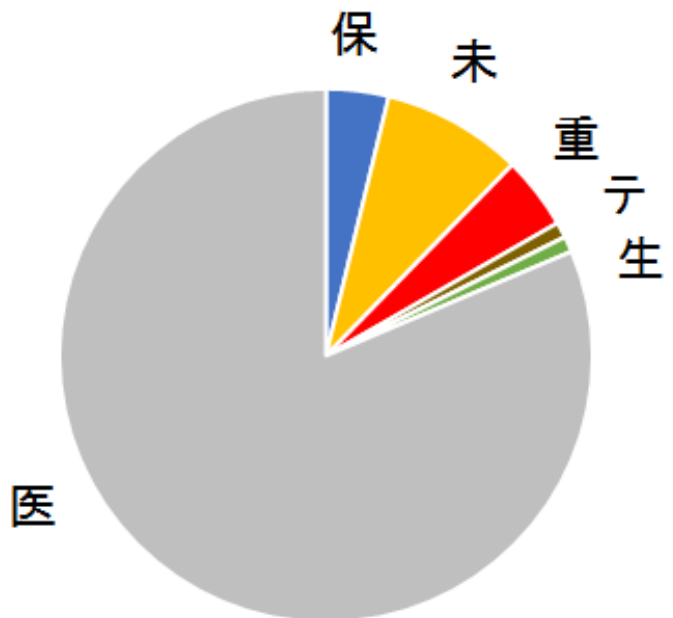
学部・研究科等	論文数
医学系研究科・附属病院	312
保健学研究科	61
重粒子線医学推進機構	40
未来先端研究機構	40
生体調節研究所	20
テニュアトラック普及推進室	8
昭和地区全体*	415

* 学部・研究科間の共著論文があるため
単純な合計にはならない

先行調査の結果(2-1)

学部・研究科間の共著論文の状況を可視化

■ 医学系研究科・附属病院 312本



■ 保健学研究科との共著論文 12本

■ 未来先端研究機構との共著論文 27本
(医-未 24、医-未-重 1、医-未-重-テ 2)

■ 重粒子線医学推進機構との共著論文 14本
(医-重 11、医-未-重 1、医-未-重-テ 2)

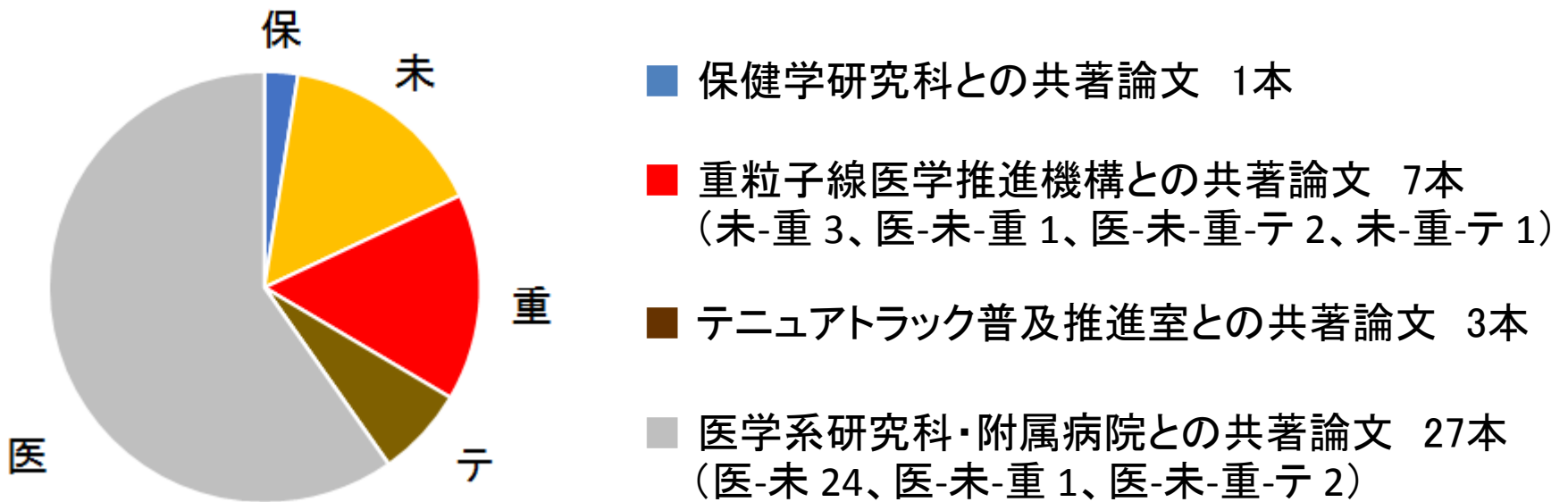
■ テニュアトラック普及推進室との共著論文 3本
(医-テ 1、医-未-重-テ 2)

■ 生体調節研究所との共著論文 3本

先行調査の結果(2-2)

学部・研究科間の共著論文の状況を可視化

■ 未来先端研究機構 40本



先行調査の結果(3)

■ 学術文献データベースへの収載率

学部・研究科等	論文数	Web of Science	PubMed
医学系研究科/附属病院	312	257 (82%)	298 (96%)
保健学研究科	61	32 (53%)	45 (74%)
生体調節研究所	20	19 (95%)	20 (100%)

学部・研究科等による差はあるが、昭和地区全体の英文論文業績のうち、約80%がWeb of Scienceに収載されていた

→ 取得データを照会し、加筆・修正を依頼する調査方法へ

本調査について(1)

■ 先行調査の全学への展開

新たに教育学部、社会情報学部、理工学府などが対象

■ 全常勤教員(平成30年5月1日時点、819名)に対して、 直近5年の英文・和文論文業績について調査

■ 学内のデータベースに登録されているデータと、学術文献 データベース(Web of ScienceおよびCiNii)に登録されている データを突き合わせたデータを照会し、加筆・修正を依頼

本調査について(2)

■ 研究者個人毎に以下のようなデータを照会

大学情報DB登録	年	月	論文題名	全著者名	雑誌名	言語	種別	巻	号	頁	DOI	PM ID	筆頭著者	責任著者	国際共著
未登録	2018	3	○○	△△	××	英文	原著	31	2	13-15			○		
登録済み	2017	2	●●			和文	総説						○	○	
未登録	2016	2	□□	▲▲	◇◇	英文	原著								○

- ✓ 英文はWeb of Science、和文はCiNiiのデータを活用
- ✓ 学内DBに業績を登録している研究者に配慮

■ 回答期間は3週間とし、未回答者にはリマインドの連絡をするなどした。

先行調査と本調査の比較

先行調査		本調査
<ul style="list-style-type: none"> ・昭和地区(全教員の約60%) 医学系研究科、保健学研究科、 医学部附属病院、生体調節研 究所、重粒子線医学推進機構、 未来先端研究機構、テニユア トラック普及推進室 	対象 学部	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和地区 ・荒牧地区 教育学部、社会情報学部 など ・桐生地区 理工学府
<ul style="list-style-type: none"> ・直近1年分 ・英文論文のみ 	対象 業績	<ul style="list-style-type: none"> ・直近5年分 ・英文論文と和文論文
<ul style="list-style-type: none"> ・なし 	デー タ ソ ース	<ul style="list-style-type: none"> ・学内データベース(大学情報DB) ・Web of Science / CiNii
<ul style="list-style-type: none"> ・部門(講座)と個人の併用 ・メール ・Excelファイル(データなし)を送付 	依 頼 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・個人 ・メール ・Excelファイル(データあり)を送付
<ul style="list-style-type: none"> ・URA 1名(他業務との兼務) 	集 計 体 制	<ul style="list-style-type: none"> ・URA 1名(専従) + 事務補佐員2名

本調査の結果（概要）

- 研究者個人単位での論文業績を把握した。先行調査同様に、論文の共著状況を把握した。
- 特定機能病院申請、病院機能指標調査等へ調査結果を活用した（研究者の負担軽減）。
- 未回答者への対応に時間を要した。
- 依頼方法（複数のメールアドレス使用する研究者など）に課題が残った。
- 「論文」の定義（共著図書内の論文/国際学会Proceedings等）が研究分野あるいは研究者個人によって異なった。